



ボランティアの たまご



2月号
NO.219

編集・発行／四日市市ボランティアセンター 令和6年1月20日発行

活躍中のボランティアさんの声をお届け!!

ボイス

VOICE

「みんなの知恵とパワーで 楽しい居場所を作り上げる！」

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか？

楠町社会福祉協議会が開催したホームヘルパー講座を受講しました。その時に訪問入浴ボランティアに誘われ、参加したことがきっかけです。平成13年に民生委員児童委員を拝命した頃、地域のつどいの場である「幸町2区街角くらぶ」を立ち上げました。当時は今のようなサロン活動はほとんど無く、県外で先駆的に活動していたところに視察へ行き、サロンについて学んで活動に役立てました。

Q. 活動の中で大切にしていることは何ですか？

サロンに来てくれた人に、居心地の良さを感じてもらうことです。初めて来てくれた人にも積極的に声をかけ、また来たいと思える雰囲気づくりを大切にしています。大正琴を習って披露したり、遠方へいちご狩りに出かけたりと、参加者に楽しんでもらえるよう、さまざまなことを企画しました。どれもまず、わたし自身が楽しむことも大事にしてきました。

また、サロンを長く続けてこられたのも家族や周りのみなさんのサポートがあってこそです。感謝の気持ちを忘れずに活動しています。

Q. 活動の魅力はどんなことですか？

サロンのイベントで大正琴の演奏に合わせて、会場のみなさんにもミュージックベルと一緒に鳴らしてもらいました。一体感が高まり、参加者から「とっても楽しかったよ」「また来たい!」と言っていただき、わたしも嬉しく思いました。

また、サロン活動には、活動をサポートしてくれる「お助けマン」やコーヒーボランティア「ほたる」のメンバー、民生委員児童委員OBなど多くの方々関わっています。みなさんの知恵やパワーを借りて、サロンを作り上げることも魅力の一つです。

Q. 最後に一言!

「サロン活動を始めたい」という相談をいただくことがあります。ぜひ仲間と誘い合って始めてほしいですね。わたしもそうですが、「始めて良かった」とみなさん言われます。助けが必要なときは、いつでもお手伝いに行きますよ。

奇数月に開催する『幸町2区カフェサロン』は、地区の方ならどなたでも参加できます。ぜひ遊びに来てください!



ふるさわ として
今回は 古澤 敏子 さん

コーヒーを飲みながら交流できる居場所『幸町2区カフェサロン』の代表。

四日市市ヘルスリーダーの会や四日市市食生活改善推進協議会の会員でもある。

また、大正琴サークル「レインボー」にも所属し、地域のサロンやイベントへ出向いて大正琴を披露するなど活動は多岐にわたっている。

ボランティア活動を知ろう

ボランティアグループの活動をパネルや写真などで紹介します



展示期間 3月15日(金)～17日(日)

10:00～16:00

※17日のみ15:30まで

場 所 四日市市文化会館 展示棟

(四日市市安島2丁目5-3)

ボランティア川柳の展示やフードライブの開催もあります。
17日には出張おもちゃ病院も開院! ぜひお越しください!



2024/3/4 ~ 31

四日市ボランティアキャンペーン ～ みんなでしよに ボランティア ～

＼ 活動紹介してみませんか? /
協力団体 大募集!

『ボランティア活動を知ろう』内でパネル展示など活動を紹介していただける団体を募集します。詳細はボランティアセンターへお問い合わせください。ご協力お願いします!



裏面に続きます⇒

